

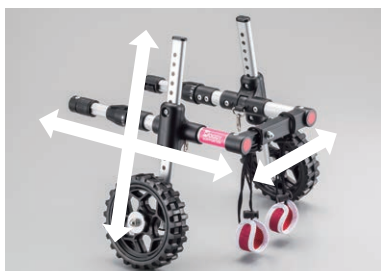
## 獣医師監修のもとで アニマル工学に基づき開発



	型式	胸周りcm	胴周りcm	着丈cm	質量kg	体高cm
セット品	DGS-SH1RDT	36 ~ 41	33 ~ 41	25 ~ 30	-	16 ~ 30
	DGS-SH2RDT	40 ~ 50	37 ~ 48	27 ~ 35	-	
犬用補助車	DGS-S	-	-	-	1.3	
専用ハーネス	DGS-H1RDT	36 ~ 41	33 ~ 41	25 ~ 30	-	
	DGS-H2RDT	40 ~ 50	37 ~ 48	27 ~ 35	-	

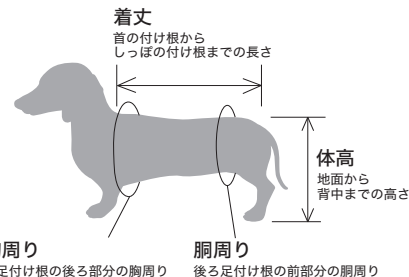
● 素材／補助車材質：アルミニウム合金、車輪材質：EVA、ハーネス材質 表地：綿100%、裏地：ポリエステル100%

● ハーネスをつけたまま補助車を着脱できます。愛犬への負担はもちろん飼い主様の使いやすさを大きく向上させました。



### 3Dアジャスター機能搭載

3Dアジャストにより、個体差に応じてぴったりとフィットします。アニマル工学に基づいたデザインで、犬の急な動きでも転倒しないよう設計しています。また、オプションで用意されることが多い後ろ脚の吊り具も標準装備です。



車輪(φ150)が大きく凸凹に強いので、ドッグランなどでも走りやすい



車輪が八の字になっていて、転倒しにくい構造



圧迫感が少なくトイレもしやすい開放型



背中で取り付け。マジックテープやフックで個体差に合わせてアジャスト可能

### ■獣医師さんのコメント

【獣医師 天野 謙一郎先生】

犬は犬種によって後ろ脚の麻痺を発症しやすい犬種があります。有名なものとして、ミニチュアダックスフンドやビーグルの椎間板ヘルニアや、ウェルシュコーギーの変性性脊髄症などが挙げられます。これらの病気は環境に配慮することで予防できることもありますが、多くは遺伝的な素因をもっているため100%防ぐことは難しいです。

ドギーサポーターはアニマル工学に基づいたデザインを取り入れているため、ベットにとっても着用の負担が少なく、思い通りに動きやすい設計になっています。後ろ脚の麻痺のある子は前脚は元気に動かせることが多いですので、ドギーサポーターを装着するだけで昔の動きを取り戻せるかもしれません。



ハーネスは上下にセパレート可能で、着脱ラクラク

お問い合わせは



**PET's ADVANCE**  
By Pica corp.